

家庭クラブだより



H28.2.19 発行

いよいよ卒業式が約1週間後に迫りました。3年生は高校生活3年間の思い出にふける日々ではないでしょうか。1・2年生は、今まで学校を引っ張ってくれた3年生の思いを引継ぎ、来年度に向けて、今できることに全力で取り組みましょう。

全国高等学校家庭科技術検定 三冠王(1級3種目)

生活科学科3年生5名が、全国高等学校家庭科教育振興会が主催する被服製作技術検定和服、洋服及び食物調理技術検定の1級に合格し、「三冠王」を達成しました。技術検定は4級から始まり、上位級になるにつれて難易度が高くなります。被服製作技術検定4級基礎縫い、3級アウターパンツ、2級和服じんべい、2級洋服シャツ・ブラウス、1級和服ひとえ長着、1級洋服総裏ジャケット、食物調理技術検定4級基礎調理、3級日常食、2級お弁当、1級供用食の全ての級の合格を目指し、高校生活3年間粘り強く努力を重ねた結果です。受賞者のみなさんおめでとうございます。

受賞した生徒5名



検定1級洋服で制作したジャケットを着用して記念撮影

左から 向居未夢さん 高岡菜実さん
河野睦美さん 沖野未知さん 松岡杏奈さん

生徒の感想

私は1年生の頃から三冠王に憧れていました。でも、自分がいざ1級の検定となると思っている以上に難しく、放課後残って作業したり、家で練習したりと大変でしたが、努力の甲斐あって3年間の夢が叶って嬉しいです。(高岡)

どの検定も1級になると難しく途中で辞めたくなることも結構あったけど、諦めなくて良かったです。三冠王を受賞することができ、嬉しいです。(沖野)

検定に合格するごとに、自分に自信ができました。最後の生活科学科として三冠王を受賞でき、本当に嬉しいです。(松岡)

まさか自分が三冠王を取れるとは…思ってもいませんでした。練習中は苦戦だらけで、苦い思い出ばかりですが、今思い返すと良い思い出となりました。(向居)

1年生の時先輩を見てきて、ずっと憧れだった三冠王を取ることができ、とても嬉しいです。三冠王は思っていた以上に大変で難しかったけれど、みんながいたので頑張れました。この経験を卒業しても生かしていきたいです。(河野)

食物調理技術検定1級
献立作成の主題

「65歳祖母の誕生祝い」



凧あげ交流会

1月22日（金）食品デザイン科生活コースの2年生が
肱北保育所で5歳児のみなさんと凧作りをしました。

2月8日（月）には22日に作った凧で生産科学科
2年生と一緒に凧あげをしました。天気に恵まれ大農
グラウンドを、子どもたちは元気よく走り回り上手に凧
をあげることができました。

[生徒の感想]

・凧作りを一緒にして、とても楽しかったです。小さい子とあまり、接する機会がないのでとても不安でした。でも、一生懸命凧に絵を描いたり、作るのを手伝ってるうちに仲良くなれました。お別れの時に握手をして、名札をもらってくれたので嬉しかったです。

・園児との交流は芋掘り以来でした。僕自身は凧揚げの経験がなかったので心配でしたが、一緒に楽しむことが出来て良かったです。園児の方が、思っている以上に走って、ついて走るのがしんどかったです。これからも、園児との交流があれば、元気よく取り組みたいです。



ひな祭り交流会

2月5日（金）食品デザイン科生活コースの2年生が
大農に肱北保育所の園児を招いて、ひな祭り交流会を実
施しました。一緒に料理を盛りつけたり、食事をしたり、
食育クイズをして交流を深めました。



[生徒の感想]

・私は小さい子と交流することが大好きなので、とても楽しみにこの日を待っていました。調理する時も、美味しいと言ってくれるように考えたり、見栄えをよくするなどの工夫をしました。幼児が食べる量と私たちが食べる量は全く違います。私たちが昔はあれくらいお腹いっぱいになっていたんだと改めて思いました。

お昼ご飯の準備ができ、班ごとに分かれて子どもたちと一緒に食べました。私の班では、話を積極的にしてくれる子、そうでない子がいました。ですが、話をしてくれる子とばかり話したのでは駄目だと思い、口数の少ない子にも質問を試みたり、会話に入りやすくするために常に話しかけたりと、私なりに努力しました。みんなで作った料理も美味しいと言って残さず食べてくれました。私の班にいた3人の子たちは、好き嫌いがなく立派だと思いました。肱北保育園の年長組のみんなと交流を深めることができました。またこのような機会があればうれしいです。（I）

・園児との調理体験で3人の子どもを担当しました。3人ともそれぞれ個性があり最初は私も3人も緊張していましたが、調理体験を通して打ち解けることができました。園児との調理の他に会食後のクイズも担当しました。係の仲間と一緒に協力して、当日までに足りない食材の絵を描いたり、ホワイトボードを運んだりと様々な準備をしました。食育クイズをする時に気をつけたのは、食材の絵が園児が見やすいように上の方に貼ることです。練習の時に失敗したので、本番は気を抜かないように注意しました。思っていたよりも園児たちが元気よく答えたり、難しい食材についても知っていたりしたので、驚きました。高校生も園児もみんなで積極的に参加してくれたので、大きな失敗もせず、クイズができたのでよかったです。

会食が終わって帰る準備をしている時、担当した3人の子が「ありがとう。ばいばい。」と言ってくれたのがとてもうれしかったです。これから幼児と接する時、どんな風にすればよいか学べたい機会でした。（H）

